

# 令和2年度 行政評価結果

## 【第2巻 戦略プロジェクト評価】

評価からはじめるまちづくり

令和2年 12月

盛岡市

# 目 次

## I 戦略プロジェクトについて

- 1. 戦略プロジェクトとは何か . . . . . 1
- 2. 令和2年度戦略プロジェクト . . . . . 1

## II 戦略プロジェクト評価について

- 1. 戦略プロジェクト評価は何のために行うのか . . . 2
- 2. どのような仕組みか . . . . . 3
- 3. 評価結果を何に反映させるのか . . . . . 3
- 戦略プロジェクト評価シートの見方 . . . . . 5
- 戦略プロジェクトロジックモデルシートの見方 . . . . . 6
- 重点1 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト . . . 7
- 重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト . . . 11
- 重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト . . . 15

# I 戦略プロジェクトについて

## 1 戦略プロジェクトとは何か

平成27年度からスタートした総合計画の基本目標\*<sup>1</sup>を達成するため、各分野の29施策\*<sup>2</sup>において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、本市の課題等を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

取組期間は、おおむね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

### \*<sup>1</sup> 基本目標

総合計画の基本構想に掲げている「目指す将来像」の実現のため、まちづくりの理念や方向性を表したもの

### \*<sup>2</sup> 施策

目指す将来像の実現に向けて取り組む課題を明確にするために、4つの基本目標の下に位置付けたもの。施策毎に目標値を設定するなどして達成度の評価を行います。

## 2 令和2年度戦略プロジェクト

### 重点1 未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト

ものづくり人材や意欲ある農林業の担い手の育成、支援など、若者を中心とした盛岡で働く人を育てるとともに、戦略的な企業誘致や新産業等用地の整備、地元企業への支援などを通じて、盛岡の働く場を創出します。

また、地元企業や農林業などの、効率性や生産性、付加価値を高め、地場産業の基盤の安定化と魅力向上により、地域経済の活性化と人口流出の抑制を図り、持続可能な活力あふれるまちづくりを推進します。

## 重点2 みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実します。

また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちを実現します。

## 重点3 2020あつまる・つながるまちプロジェクト

本市を訪れる旅行客が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、国内外からの観光客受入態勢の整備を進めるほか、様々な媒体を通じ、本市の魅力を積極的にプロモーションします。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運を高め、ホストタウン事業などに取り組むとともに、MICE（マイス）の誘致や盛岡ファンづくりを推進するなど、交流人口を増やし、魅力があふれるまちづくりを推進します。

# II 戦略プロジェクト評価について

## 1 戦略プロジェクト評価は何のために行うのか

戦略プロジェクト評価は、各戦略プロジェクトが目的や目標に対し、どの程度達成されたか等の視点により評価するとともに、ロジックモデルシートを活用した戦略プロジェクトと構成事業の関係性や成果の顕在化についても評価しています。

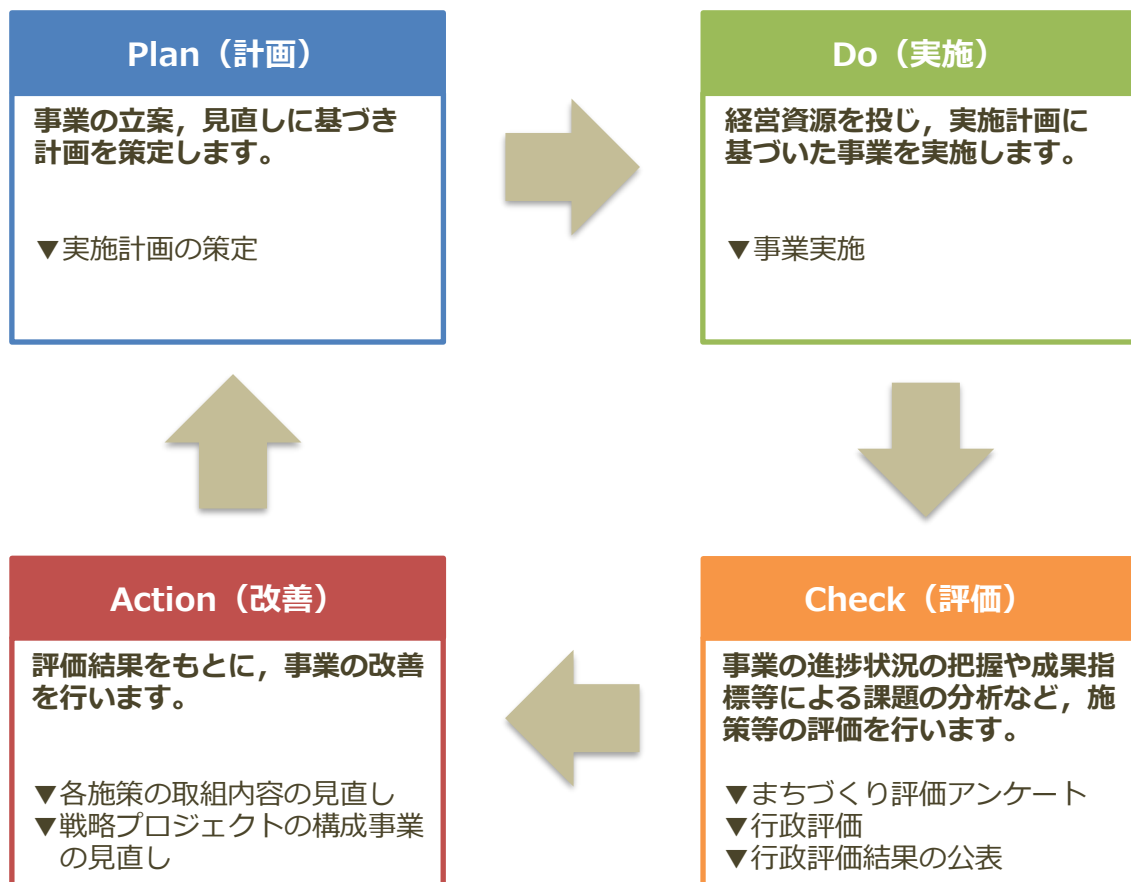
なお、評価シートでは、戦略プロジェクトの目標値に対する実績値の推移をグラフ化して表すとともに、実績の評価を踏まえた今後の展開についても示しています。

戦略プロジェクトは、設定した取組期間内において目標を達成することが求められていることから、前年度の実績を踏まえながら当該年度の評価時点における進捗状況評価（事中評価）を実施することで、戦略プロジェクトの着実な推進を図ります。

## 2 どのような仕組みか

計画（PLAN）→実施（DO）→評価（CHECK）→改善（ACTION）の循環（マネジメントサイクル）を確立し、市の行政活動について絶えず振り返りを行うことにより、次年度以降の企画の立案や予算編成に反映させていく仕組みです。

### ○総合計画の進行管理



## 3 評価結果を何に反映させるのか

戦略プロジェクト評価の評価結果は、今後の戦略プロジェクトの推進や構成事業の見直しに活用するとともに、戦略プロジェクトの期待する効果の実現に向けて特に高い効果が得られる事業に対し、重点的に予算を配分するなど、予算編成に活用することとしています。

(余白)

# 戦略プロジェクト評価シートの見方

## 【戦略プロジェクト評価(令和2年度)】

### 戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	未来のもりおかを創る	戦略プロジェクトに取り組む背景	戦略プロジェクトの取組の内容
期待する効果	やりがいのある仕事を創り、若者が引き付けられ暮らし続ける、活力のあるまちになる	若者がどれだけ盛岡に残り、定住してもらえるのかという課題があり、この課題解決に向けて「安定した雇用形態」、「所得の向上」といった雇用の質を重視した取組の経営課題に直面し、課題の解決に向けての強化などを促進する	ものづくり人材や意欲ある農林業の担い手の育成、支援など、若者を中心とした盛岡で働く人を育てるとともに、戦略的な企業誘致や新産業等用地の整備、地元企業への支援などを通じて、盛岡の働く場を創出する。 また、地元企業や農林業などの、効率性や生産性、付加価値を高め、地場産業の基盤の安定化と魅力向上により、地域経済の活性化と人口流出の抑制を図り、持続可能な活力あふれるまちづくりを推進する。
重点取組期間	令和2～令和4年度	戦略プロジェクトの中心事業を所管する部を「主管部」、 主管部の部長を、「戦略プロジェクト統括マネージャー」としています。	意図(対象をどのようにしたいのか)
主管部名	商工労働部・農林部	対象(誰(何)を対象として行うのか)	盛岡でやりがいのある仕事に就き、暮らし続ける 基盤を安定化させ、魅力を向上させる
戦略プロジェクト統括マネージャー	小笠原 康則 商工労働部長・長澤 秀則 農林部長	戦略プロジェクトの進捗状況を客観的な数値で表した指標を設定し、 目標達成度を評価する判断材料としています。	

### 目標指標の状況・評価(令和2年7月時点)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単位	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析	「指標の目指す方向」に向けた問題点	
指標① 盛岡公共職業安定所管内の高校生県内就職率	%	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業に対し、求人票の早期提出を各機関が呼びかけるなどして、県内の求人情報を高校生が早期に知ることができるよう取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハローワークや県、市がそれぞれ地元企業を学生が知るための取り組みを行った。</li> <li>毎年行っている高校生を対象としたインターンシップ事業が地元企業を知るきっかけとなったと考えられる。</li> <li>高校生の就職面談会を開催するなどして、就職機会の提供を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度とほぼ横ばいの数値となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大都市圏の企業と比較した場合に待遇差があることから、一定数県外での就職を選択する。</li> <li>企業の知名度が大都市圏の企業と比べて低い。</li> </ul>
指標② 県内大学生の県外志向	%	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に比べて県内就職の内定率が増え、県外企業の高い採用意欲の中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業と大都市圏の企業との待遇格差が大きい。</li> <li>県内企業の知名度が、大都市圏の企業と比べて低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学生の県外志向が高い状態となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大以前において、景気が好調な状態が続いていたことから、特に大都市圏において企業の採用意欲が高い状態にあった。</li> </ul>

### 今後の展開(評価時点～令和3年度)

評価を踏まえた今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆1 高校生インターンシップの参加企業・参加高校を増やし、多くの学生が地元企業を知るきっかけとする。</li> <li>☆2 地元で働き・生活することの魅力伝えるための方法をさらに検討する。</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、求人等への影響が生じる可能性があり、動向を注視し、必要に応じて適切な施策を講じていく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆1 県外大企業への就職支援を</li> <li>☆2 地元企業の働く場としての魅力向上を図る。</li> <li>☆3 大都市圏との待遇格差の解消に資するため地域経済を活性化させ、企業収益向上を目指すための取組を行う。</li> <li>☆4 若者の起業を支援するための取組を行う。</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、求人等への影響が生じる可能性があり、動向を注視し、必要に応じて適切な施策を講じていく。</p>

指標の実績値の状況を踏まえ、指標の目指す方向に向けて特に寄与している点・問題点を記載し、その要因を分析しています。

左欄の要因分析を基に、今後必要となる展開を記載しています。

「/」は実績値を上げていくことを、「\」は実績値を下げっていくことを、目標とするものです。

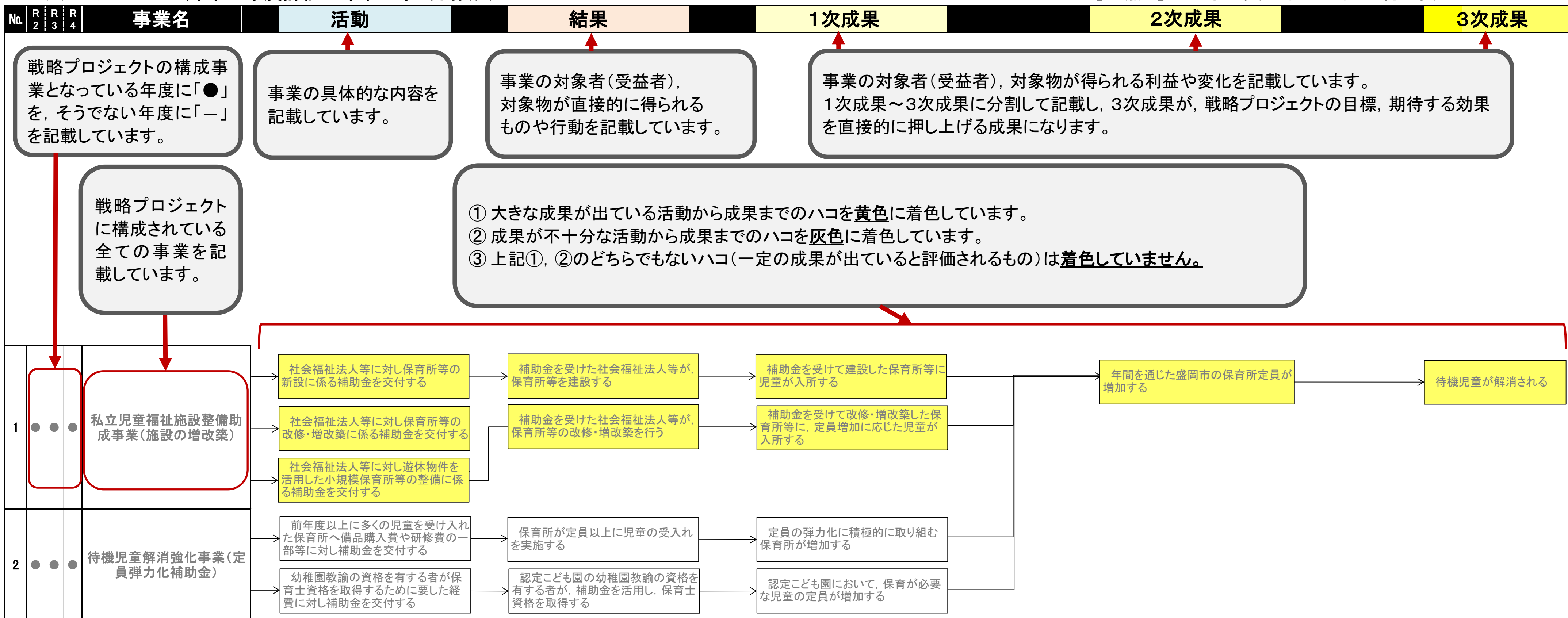


# 戦略プロジェクト ロジックモデルシートの見方

- ロジックモデルとは、ある施策がその目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を明示したものです。
- 戦略プロジェクトにおけるロジックモデルシートは、各事業がどういった論理（ロジック）で戦略プロジェクトの期待する効果に至るのか、その過程を、数段階（活動、結果、一次成果、二次成果、三次成果）に分けて整理しています。つまり、活動から右へ順に、時間の経過にともなう成果の流れを表しています。
- ロジックモデルシートを作成するにあたっては、経験と事業実績に基づいて、「こうなることによってこうなる、その結果こうなる・・・」という論理の流れを考えます。このような論理的な根拠を持ったより良い仮説を立てることが、より有効性の高い事業をつくりだすことにつながると考えています。また、毎年このロジックモデルを検証し、見直すことによって、戦略プロジェクトの期待する効果の達成を目指します。

ロジックモデルシート(令和2年度評価/令和2年7月作成)

[重点2]みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト





# 【戦略プロジェクト評価(令和2年度)】

## 戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト
期待する効果	やりがいのある仕事を創り、若者が引き付けられ暮らし続ける、活力のあるまちになる
重点取組期間	令和2～令和4年度
主管部名	商工労働部 ・ 農林部
戦略プロジェクト統括マネージャー	小笠原 康則 商工労働部長 ・ 長澤 秀則 農林部長

戦略プロジェクトに取り組む背景	戦略プロジェクトの取組の内容
人口減少社会において、若者がどれだけ盛岡に残り、定住してもらえるのかという課題があり、この課題解決のためには、「やりがいのある仕事」、「安定した雇用形態」、「所得の向上」といった雇用の質を重視した取組が重要である。市内中小企業の多くが人材不足や後継者不足などが深刻化している。これらの課題の解決に向けては、新たな人材の育成や確保のほか、経営の持続的な成長につながる取組や経営力の強化などを促進する必要がある。同時に、生産年齢人口が減少する中において、働き方改革やAI、IoTの技術をはじめとしたSociety5.0など新しい社会の動きを捉え、産業の付加価値や生産性の継続的な向上につなげていく必要がある。	ものづくり人材や意欲ある農林業の担い手の育成、支援など、若者を中心とした盛岡で働く人を育てるとともに、戦略的な企業誘致や新産業等用地の整備、地元企業への支援などを通じて、盛岡の働く場を創出する。また、地元企業や農林業などの、効率性や生産性、付加価値を高め、地場産業の基盤の安定化と魅力向上により、地域経済の活性化と人口流出の抑制を図り、持続可能な活力あふれるまちづくりを推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
若者 地元企業・農林業	盛岡でやりがいのある仕事に就き、暮らし続ける 基盤を安定化させ、魅力を向上させる

## 目標指標の状況・評価(令和2年7月時点)

実績値の推移				実績の評価		今後の展開(評価時点～令和3年度) 評価を踏まえた今後の取組
指標	当初値(H29)	R4目標値	目指す方向	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析	
指標① 盛岡公共職業安定所管内の高校生県内就職率	63.8	70.0	↗	「指標の目指す方向」に向けた問題点	特に寄与している点の要因分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆1 高校生インターンシップの参加企業・参加高校を増やし、多くの学生が地元企業を知るきっかけとする。</li> <li>☆2 地元で働き・生活することの魅力伝えるための方法をさらに検討する。</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、求人等への影響が生じる可能性があり、動向を注視し、必要に応じて適切な施策を講じていく。
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業に対し、求人票の早期提出を各機関が呼びかけるなどして、県内の求人情報を高校生が早期に知ることができるよう取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークや県、市がそれぞれ地元企業を学生が知るための取り組みを行った。</li> <li>・毎年行っている高校生を対象としたインターンシップ事業が地元企業を知るきっかけとなったと考えられる。</li> <li>・高校生の就職面談会を開催するなどして、就職機会の提供を図った。</li> </ul>	
指標② 県内大学生県内就職内定率	43.6	45.0	↗	「指標の目指す方向」に向けた問題点	特に寄与している点の要因分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆1 県外大学等の学生のUターンを促進するための取組を行う。</li> <li>☆2 地元企業の働く場としての魅力向上を図る。</li> <li>☆3 大都市圏との待遇格差の解消に資するため地域経済を活性化させ、企業収益向上を目指すための取組を行う。</li> <li>☆4 若者の起業を支援するための取組を行う。</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、求人等への影響が生じる可能性があり、動向を注視し、必要に応じて適切な施策を講じていく。
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に比べて県内就職の内定率は下がったものの、各種事業の実施により、県外企業の高い採用意欲の中において、下げ幅を食い止めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の採用力強化研修を行ったことにより、採用に結び付いている企業もある。</li> <li>・ジョブカフェいわて運営事業により、多くの学生等に対し、きめ細かな就職支援を行っている。</li> </ul>	
指標③ 青年就農者数(累計) ※新規就農者のうち45歳未満の者	96	160	↗	「指標の目指す方向」に向けた問題点	特に寄与している点の要因分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆1 個別具体的な就農相談を継続し、農業改良普及センターなどの関係機関とも連携しながら、丁寧な対応と必要な情報提供を徹底する。</li> <li>☆2 JA・振興局などの関係機関と協力し、補助事業等各種制度の周知を徹底する。</li> <li>☆3 「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づき、関係する様々な主体と連携しながらアクションプランに取り組んでいく。また、各取組の実施に当たり、ターゲットを若者に設定するなど、若い世代の参画を意図した企画を実施する。</li> <li>☆4 事業計画に沿って、スマート農業導入促進事業、輸出支援事業、森のしごと見学会等に取り組む農林業の魅力発信に努める。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的な田園回帰の潮流により、農のある生活に新たな価値が見出されている。</li> <li>・農業次世代人材投資資金や親元就農給付金の交付が、新規就農を後押ししている。</li> <li>・直近3年間の新規就農者数の約半数が、農業法人・団体に職を得る「雇用就農」であり、法人等が新たな担い手を確保・育成する受け皿となっている。</li> <li>・「美食王国もりおか」ファンクラブ会員へメールマガジンでの継続的な情報発信を続けているほか、「畑のお手伝いプロジェクト」など農業を体験できる機会を創出した。</li> <li>・若い世代をメインターゲットに本市の食と農の魅力を発信するリーフレット「もりおか食の輪」を発行したほか「美食王国もりおか」ウェブサイト内で「私のてつがく」と題し、市内で活躍する農家の思いや考え方を紹介した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大地震、記録的豪雨、新型コロナ等の自然・人的災害により、人々の生活基盤が脆弱化しており、人の暮らしのあり方が見直されている。</li> <li>・農業次世代人材投資資金や親元就農給付金は、農業所得が不安定な就農初期段階を支えている。</li> <li>・雇用就農を一定期間経過後、独立就農するケースがあることから、雇用就農が独立就農への助走期間と捉えられ、選択される傾向が現れ始めている。</li> <li>・「もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に掲げるアクションプランに基づき、食と農の基盤強化、魅力発信などに係る事業を複数展開し、本市の食や農への興味、関心を高める機会を創ってきたことによる。</li> </ul>	
指標④ 盛岡市内の働き方改革関連認定企業数	29	120	↗	「指標の目指す方向」に向けた問題点	特に寄与している点の要因分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆1 働き方改革に取り組むためのセミナーを開催し、企業の取組を支援する。</li> <li>☆2 中小零細企業の人材確保を支援し、働き方改革への取組が行える環境づくりを図る。</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革に対する取組の必要性を企業が認識し、浸透し始めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク・ライフ・バランス推進事業を実施し、個別企業へのコンサルティングを行い、リーディング企業を育成することで、他の市内企業にワーク・ライフ・バランスに対する取組が広がったと考えられる。</li> <li>・働き方改革に取り組んだ企業を表彰するなどして、その取組の必要性をPRした。</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小零細企業では、取組をできない事業所もあると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小零細企業では人員が不足していることが考えられる。</li> <li>・ICTを活用した働き方改革の取組方法が知られていない可能性がある。</li> </ul>	





No.	事業名	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果		
6	● 食と農の連携推進事業／食と農のバリューアップ推進事業(美食王国もりおかPR事業、6次産業化等スタートアップ支援事業)	「美食王国もりおか」ウェブサイト・ファンクラブの管理運営を委託する	委託を受けた事業者が、「美食王国もりおか」ウェブサイト及びファンクラブを管理運営する	市民の盛岡産農畜産物の購入意欲が高まる	盛岡産農畜産物の消費が拡大する	農業生産者や食関連事業者の所得が向上する	農業における人材確保が進む	
		盛岡市の食と農の魅力発信し理解を深めてもらうための複数のプロモーションを委託する	委託を受けた事業者が、冊子制作やメディアを活用して「美食王国もりおか」をPRする 委託を受けた事業者が、盛岡産農畜産物の理解促進に係るイベントを開催する			市民が食と農の魅力を認識し、誇りをもってその魅力を発信する		
		食関連事業者のネットワーク形成のコーディネートを委託する	委託を受けた事業者が、料理人やパティシエのネットワークを形成する	ネットワーク形成をきっかけに、盛岡産農畜産物を活用した商品・サービスの開発・改良が促進される	盛岡産農畜産物の高付加価値化が図られ、販路が拡大する			
		市内の農畜産物生産者と市内外の食関連事業者をつなぐ機会づくりを委託する	委託を受けた事業者が、食材流通と連動した飲食店メニューフェアを開催する 委託を受けた事業者が、農畜産物生産者と飲食業事業者をつなぐ流通の仕組みづくりを行う	フェアをきっかけに、飲食業事業者が盛岡産農畜産物を活用したメニューを提供する 飲食業事業者が、盛岡産農畜産物を仕入れるため、食材流通マッチングサイトに登録する				
		6次産業化セミナーの開催を委託する	委託を受けた事業者が、6次産業化セミナーを開催する	6次産業化に成功する生産者が増える				
		6次産業化等を行うおとする生産者に対し、補助金を交付する	生産者が、補助金を活用し、商品・サービスの開発や改良、新たな販路の開拓等を行う					
		● 食の農の連携推進事業(盛岡の食材プロモーション事業)	盛岡市農業振興連絡協議会に負担金を支出する	農業振興連絡協議会と盛岡広域振興局が連携し、生産者と食関連事業者による商談会を開催する 農業振興連絡協議会と盛岡広域振興局が連携し、食関連事業者を対象とした産地訪問ツアーを開催する	商談会をきっかけに、生産者と食関連事業者の取引がうまれる 産地訪問ツアーをきっかけに、生産者と食関連事業者の取引がうまれる			
			新規就農者に対し、農業次世代人材投資資金を交付する	新規就農者が、農業次世代人材投資資金を活用し農業をはじめ	新規就農者が、安定した営農を続ける			
		● 新規就農支援事業	新規就農者に対し、親元就農給付金を交付する	新規就農者が、親元就農給付金を活用し農業をはじめ				
		● 農業生産対策事業(スマート農業導入促進事業)	農業用ドローンの購入、オペレーター講習を受講する農業者に対し、補助金を交付する	農業者が、補助金を活用し、農業用ドローンの購入とオペレーター講習を受講する	農作業の効率化と生産性の向上が図れる			
			りんごの剪定作業の担い手確保に係る経費に対し、補助金を交付する	りんご業者が、補助金を活用し、剪定作業の担い手を確保する	補助金を活用したりんご業者の、剪定作業受注件数が増加する	剪定作業の担い手として従事していた者に、生産技術が継承される		
		● 農業改良普及事業(輸出支援事業)	盛岡市農業振興連絡協議会に負担金を支出する	盛岡市農業振興連絡協議会が、輸出支援に関するセミナーやフォーラムを開催する	セミナーやフォーラムに参加した生産者の輸出意欲が高まる	輸出意欲が高まった生産者が、支援を受けて輸出事業を開始	盛岡産農畜産物の輸出量が増加する	
● 林業労働対策事業(森のしごと見学会)	高校生を対象とした、林業・木材産業の関連事業所の見学会の実施を委託する	委託を受けた事業者が、高校生を対象とした林業・木材産業関連事業所の見学会を開催する	見学会に参加した高校生が、見学した林業・木材産業関連事業所に興味を持つ	見学会に参加した高校生が、仕事の内容を理解した上で、林業・木材産業関連の仕事に就く		4林業における人材確保が進む		
	● ものづくり人材育成事業	高校生・専門学生・大学生を対象に、盛岡広域の特性を活かしたものづくりをテーマとしたセミナー等を開催する 高校生・専門学生・大学生を対象に、盛岡広域の特性を活かしたものづくりをテーマとした工場見学を実施する	セミナー等に、学生が参加する 工場見学に、学生が参加する	セミナー等に参加した学生が、仕事内容や企業への理解を深める 工場見学に参加した学生が、仕事内容や企業への理解を深める	セミナーや工場見学に参加した学生等が、企業の理解を深めた上で、ものづくり産業関連の仕事に就く	ものづくり産業における人材確保が進む		
● 盛岡テクノミュージアム設置事業	事業者に対して、盛岡テクノミュージアムに登録するよう働きかける	地元企業が、盛岡テクノミュージアムに登録する						
	盛岡テクノミュージアムに登録した事業者に対し、製品や企業紹介スペースを設置する経費への補助金を交付する	補助金を受けた事業者が、製品や企業紹介スペースを設置する	学生等が、盛岡テクノミュージアムに登録した企業を見学し、仕事内容や企業への理解を深める					
● 工業振興事業(製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金)	国内の展示会や見本市へ自社製品や情報サービスを出店する事業者に対し、必要経費に係る補助金を交付する	補助金を受けた事業者が、国内の展示会や見本市へ自社製品や情報サービスを出展する	補助金を受けた事業者が、国内で新たな販路を開拓する	市場開拓等事業補助金を受けた事業者の収益性が向上する	市場開拓等事業補助金を受けた事業者の所得が向上する			
	海外の展示会や見本市へ自社製品や情報サービスを出店する事業者に対し、必要経費に係る補助金を交付する	補助金を受けた事業者が、海外の展示会や見本市へ自社製品や情報サービスを出展する	補助金を受けた事業者が、海外で新たな販路を開拓する					
● 工場新設拡充等事業(未来創造産業拠点形成調査事業、企業誘致推進事業)	市の区域内に工場・事業所等の新設・拡充を行う市内既存企業や誘致企業に対し、補助金を交付する	補助金を受けた企業が、工場・事業所等の新設・拡充を行う	補助金を受けた中小企業の収益性が向上する 補助金を受けた中小企業が、新たな人材を雇用する	工場等新設拡充奨励事業補助金を受けた中小企業の所得が向上する				
	道明地区新産業等用地への誘致に向けた企業へのアンケート調査を委託する	委託を受けた事業者が、企業へのアンケート調査を実施し、立地意向や市への要望を収集分析する						
	道明地区新産業等用地に対象工場等を新設拡充した企業に対し、投資額に応じた補助金を交付する	補助金を受けた企業が、道明地区に対象工場等の新設・拡充を行う						
● 新産業等用地整備事業	道明地区新産業等用地整備について、業務委託等により実施する	道明地区にも、ものづくり拠点としての新産業等用地が整備される	道明地区新産業等用地に、食料品製造業等のリーディング産業や医療分野を中心とした先端技術を有する企業が集積する	クラスター構成企業の収益性が向上する	クラスター構成企業の所得が向上する			



No.	事業名	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果
13	成長分野拠点形成支援事業	クラスター構成企業の国内外での新展開や新事業の創出を目的としたセミナーの開催を委託する	委託を受けた事業者が、クラスター構成企業の国内外での新展開や新事業の創出に向けたセミナーを開催する	クラスター構成企業が、国内外での新展開や新事業を創出する	次世代ヘルステック・ビッグデータ活用事業が、市民に認知される 次世代ヘルステック・ビッグデータ活用事業が、ビッグデータ化される	次世代ヘルステック・ビッグデータ活用事業が、ヘルスケア産業として成立する
		スペシャリスト・シェアリング体制の構築を委託する	委託を受けた事業者が、スペシャリスト・シェアリング体制を構築する	クラスター構成企業の経営の安定化が図られる		
		クラスター構成企業に対する各種コーディネート業務を委託する	委託を受けた事業者が、各種コーディネート業務を実施する	クラスター内外の企業の連携による新事業が創出される クラスター構成企業が増加する		
		海外展開を目指す地域経済牽引事業者の新事業に対し、補助金を交付する	地域経済牽引事業者が、現地法人の設立に向けて、展示会出展、提携企業との交渉、コンサルタントとの打合せ等を行う	地域経済牽引事業者が、海外での販路を開拓し、現地法人を設立する		
		盛岡ヘルステック産業協議会に、次世代ヘルステック・ビッグデータ活用事業（血液チェック）に係る負担金を支出する	盛岡ヘルステック産業協議会が、協議会会員のネットワークを活用しながら、健康イベントとして血液チェックを行う	血液チェックが、他地域に展開され、実施規模が拡大する		
		岩手県内での就職関連イベントへのクラスター構成企業の出展を委託する	委託を受けた事業者が、岩手県内での就職関連イベントへのクラスター構成企業の出展を行う	就職関連イベントに参加した学生が、クラスター構成企業の採用試験を受ける		
		盛岡市周辺の学生とクラスター構成企業の代表者による交流会を開催を委託する	委託を受けた事業者が、学生とクラスター構成企業の代表者による交流会を開催する	クラスター構成企業の代表者との交流会に参加した学生が、クラスター構成企業に就職する		
		盛岡市周辺の学生を対象としたインターンシップの実施を委託する	委託を受けた事業者が、盛岡市周辺の学生を対象としたインターンシップを実施する	インターンシップに参加した盛岡市周辺の学生が、クラスター構成企業に就職する		
		県外の学生を対象としたインターンシップの実施を委託する	委託を受けた事業者が、県外の学生を対象としたインターンシップを実施する	インターンシップに参加した県外の学生が、クラスター構成企業に就職する		
		14	商業振興事業（中小企業人材育成支援事業）	市内の中小企業の社員が中小企業大学校等の研修を受講する際の受講料の一部に対し、補助金を交付する		
大学等との共同研究を希望する中小企業等に補助金を交付する	補助金を受けた中小企業が、大学等との共同研究を行う			市場等のニーズに応じた新製品、新技術の開発やネットワークが形成される		
15	産業支援事業	中小企業や工業関係団体からの要望を受け、中小企業診断士等の各種専門家を派遣する	中小企業診断士等の専門家が、中小企業や工業関係団体が抱える課題について、解決に向けた支援を行う	支援を受けた中小企業の経営の安定化が図られる	中小企業診断士等の専門家からの支援を受けた中小企業の所得が向上する	
		1 企業サポート専門員を配置する	企業サポート専門員が、企業訪問を実施し、事業者の意向や個別課題等の把握を行い、情報提供や助言・指導を行う	支援を受けた中小企業が、円滑な事業継承を行う 支援を受けた中小企業の経営の安定化が図られる		企業サポート専門員からの支援を受けた中小企業の所得が向上する
17	ものづくり産業魅力向上事業	盛岡広域の伝統工芸品事業者の振興に係る事業を、(公財)盛岡地域地場産業振興センターに委託する	(公財)盛岡地域地場産業振興センターが、青山スクエア等で、盛岡地域の工芸品展示会を開催する	首都圏等において、盛岡地域の工芸品への認知・高付加価値化が図られ、購買行動につながる 首都圏等における盛岡地域の工芸品に関する購買ニーズが把握される	盛岡地域の工芸品の販路が拡大する	盛岡地域の工芸品事業者の所得が向上する
		(公財)盛岡地域地場産業振興センターが、盛岡地域で活動する工芸品事業者のネットワーク化を図る	「盛岡手づくり村」に、盛岡地域で活動する工芸品事業者の商品が集約される	盛岡地域の工芸品が「盛岡手づくり村」に結集することで、市内外の人の購買行動につながる		
		(公財)盛岡地域地場産業振興センターが、盛岡地域の工芸品とその事業者について情報発信する	市内外の人が、盛岡地域の工芸品とその事業者に関する情報を受け取る	市内外の人が、盛岡地域の工芸品とその事業者に興味を持ち、購買行動につながる		
		盛岡市産業支援センターの管理運営を指定管理者に委託する	指定管理者が、盛岡市産業支援センターの管理運営を行う	起業を目指す人が、産業支援センターに入居し、インキュベーション・ネージャーによる指導・助言を受ける		
18	インキュベーション支援（産業支援センター）	盛岡市産業支援センターの管理運営を指定管理者に委託する	指定管理者が、盛岡市産業支援センターの管理運営を行う	起業を目指す人が、産業支援センターに入居し、インキュベーション・ネージャーによる指導・助言を受ける	産業支援センターの入居者が、市内で起業する	
19	起業家支援事業	地域人材育成ネットワーク事業実行委員会に負担金を支出する	地域人材育成ネットワーク事業実行委員会が、起業家塾を開催する	起業を目指す人が、起業家塾に参加し、事業立上げの手順や事業成功のノウハウ等を学ぶ	産学官連携研究センターの入居者が市内に企業を立地する	
		産学官連携研究センターの管理運営を指定管理者に委託する	指定管理者が、産学官連携研究センターの管理運営を行う	企業と岩手大学との共同研究等により新技術が開発される 企業が研究成果の事業化に向けた支援を受ける		
20	インキュベーション支援（産学官連携研究センター）	産学官連携研究センターの管理運営を指定管理者に委託する	指定管理者が、産学官連携研究センターの管理運営を行う	企業と岩手大学との共同研究等により新技術が開発される 企業が研究成果の事業化に向けた支援を受ける	産学官連携研究センターの入居者が市内に企業を立地する	
21	インキュベーション支援（新産業創出支援センター）	新産業創出支援センターの管理運営を指定管理者に委託する	指定管理者が、新産業創出支援センターの管理運営を行う	新産業創出支援センターの入居者が独自の技術や新製品を開発する	新産業創出支援センターの入居者が市内に企業を立地する	
22	雇用対策推進事業（U・Iターン、移住支援事業）	「岩手県U・Iターンフェア」に出展する	「岩手県U・Iターンフェア」に参加したU・Iターン希望者が、盛岡市の雇用等に関する情報を受ける	「岩手県U・Iターンフェア」の参加者が、市内の企業の採用試験を受ける	盛岡市の人口が増加するとともに、市内企業の人材確保が可能となる	
		市内の企業に就職する等の条件を満たす東京圏からの移住者に対し、移住支援金を支給する	東京圏からの移住者が、移住支援金を活用し、盛岡市で暮らし続ける	移住支援金を活用した東京圏からの移住者が増加する		
23	雇用対策推進事業／新卒・若者就業支援事業（もりおか就職ガイダンス、企業ガイドブック）	盛岡地域雇用開発協会に負担金を支出する	盛岡公共職業安定所、盛岡広域振興局、盛岡地域雇用開発協会等が共催し、もりおか高校生就職面談会を開催する	もりおか高校生就職面談会に参加した高校生が、面談した企業の採用試験を受ける	もりおか高校生就職面談会に参加した高校生が、面談した企業に就職する	
		盛岡公共職業安定所、盛岡広域振興局、盛岡地域雇用開発協会等が共催し、もりおか就職ガイダンスを開催する	もりおか就職ガイダンスの参加者が、面談した企業の採用試験を受ける	もりおか就職ガイダンスの参加者が、面談した企業の採用試験を受ける		
		盛岡地域雇用開発協会が、企業ガイドブックを発行する	企業ガイドブックを見た高校生や若者が、企業ガイドブック掲載企業の採用試験を受ける	企業ガイドブックを見た高校生や若者が、企業ガイドブック掲載企業の採用試験を受ける		
24	若者の就業支援事業（高校生インターンシップ事業・スキルアップ支援事業・高校生地元就職フォローアップ事業）	高校生を対象とした地元企業へのインターンシップを実施する	インターンシップに参加した高校生の地元企業の認知度が高まる	インターンシップに参加した高校生が、経験した企業の採用試験を受ける	インターンシップに参加した高校生が、経験した企業に就職する	
		「モリオカシゴトカメラ」の製作・配布を委託する	高校生が「モリオカシゴトカメラ」を入手する	高校生が、地元で働く魅力を感じ、地元企業の採用試験を受ける		「モリオカシゴトカメラ」を見た高校生が、地元企業に就職する
		高校生を対象とした就職に向けたスキルアップ研修会を開催する	研修会を受講した高校生の実践的な職業意識が向上する	研修会を受講した高校生の就職に向けた準備が整う		スキルアップ研修会を受講した高校生が、地元企業に就職する
25	若者の就業支援事業（若者等地元定着強化事業）	中小企業を対象とした、採用活動の方法に関する研修会の開催を委託する	委託を受けた事業者が、中小企業を対象に、採用活動の方法に関する研修会を開催する	研修会に参加した中小企業が、自社の魅力の伝え方や、ターゲットを明確にした採用活動を行う	研修会に参加した中小企業の採用試験を受ける若者が増加する	
26	若者の就業支援事業（ジョブカフェいわて運営事業）	「ジョブカフェいわて」にカウンセラーを配置し、若者を対象に就職等に関するカウンセリングを行う業務を委託する	委託を受けた事業者が、若者を対象とした就職等に関するカウンセリングを実施する	カウンセリングを受けた若者が自らの適性に合った職種を採用試験を受ける	カウンセリングを受けた若者が、自らの適性に合った企業に就職する	
27	若者の就業支援事業（新社会人就職定着支援事業）	就職後3年目までの若手社員を中心としたコミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等の実施を委託する	委託を受けた事業者が、就職後3年目までの若手社員を中心に、コミュニケーションスキル向上研修、キャリア開発研修等を実施する	研修を受けた若手社員の離職率が減少する	研修を受けた若手社員がいる企業の経営の安定化が図られる	
28	雇用対策推進事業（魅力ある職場づくり推進事業）	中小企業を対象としたICT技術の活用を含めた働き方改革に関する研修会の開催を委託する	委託を受けた事業者が、中小企業を対象に、ICT技術の活用を含めた働き方改革に関する研修会を開催する	169 研修会に参加した中小企業が、ICT技術を活用した働き方改革を実施する	研修会に参加した中小企業のWLBが実現され、働きやすい職場になる 研修会に参加した中小企業の労働生産性が向上する	研修会に参加した中小企業のWLBが実現され、働きやすい職場になる 研修会に参加した中小企業の労働生産性が向上する



# 【戦略プロジェクト評価(令和2年度)】

## 戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト
期待する効果	盛岡で子どもを産み育てたいと思われるまちになる
重点取組期間	平成30～令和2年度
主管部名	子ども未来部
戦略プロジェクト統括マネージャー	藤澤 忠範 子ども未来部長

戦略プロジェクトに取り組む背景	戦略プロジェクトの取組の内容
生産年齢人口の減少が進む中、活力ある社会を築いていくため、若い世代にとって暮らしやすい、子育てがしやすい、また女性にとって社会進出がしやすいなど、若い世代や女性が住み続けたいと思えるまちをつくること为本市の重要課題となっている。	若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実させる。 また、子育ての相談や子どもの健全な成長を支援する体制の充実を図り、盛岡に住み続けたいと思える、安心して子育てのできるまちを実現する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
子育てをしている人 子ども	子育てしやすいと感じ、子育てに関する不安が少なくなる。 家庭環境や経済状況によらず、健やかに育つ。

## 目標指標の状況・評価(令和2年7月時点)

実績値の推移		実績の評価	
指標	単位	「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点	特に寄与している点の要因分析
<b>指標①</b> 1月1日現在の待機児童数 当初値(H28) 218 R2目標値 0 目指す方向 ↘ 	人	・認可保育所、小規模保育所等の定員拡大を進め、令和2年4月に向けて375名の定員拡大を図った。 ・定員を超えて児童を受け入れた保育施設に対し、定員充足率に応じて必要とする経費の補助を行った。 ・保育士奨学金返還支援事業補助事業により131名の保育士に、保育士宿舍借り上げ支援事業により22事業者に、若手保育士処遇改善支援事業により22事業者に補助を行った。	・社会福祉法人等からの保育所開設相談に応じるとともに、遊休物件を活用した小規模保育所の整備を行ったことが定員拡大に繋がった。 ・定員を超えた児童の受け入れに対する補助の基準日を年2回とすることで、施設が取り組みやすい状況になっている。 ・若手保育士が働き続けられるよう経済的支援の拡大を図ったことで、保育士確保に繋がっていると考えられる。
<b>指標②</b> まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合 当初値(H28) 24.0 R2目標値 13.6 目指す方向 ↘ 	%	・「空き待ち児童も含めると、年間を通じた保育所入所希望者全員の入所には至っていない。 ・第2期盛岡市子ども・子育て支援事業計画における地域ごとの教育・保育の必要な量の見込みと、空き待ち児童の現状を比較しながら、施設整備等を行う必要がある。 ・保育所定員の拡大とともに、保育を担う保育士の確保を行う必要がある。	・女性の社会進出が増加するとともに、育児休業後に職場復帰するなど年度途中の保育所の入所希望が増加している。 ・定員を超えた児童の受け入れの実施状況と施設整備は密接な関係にある。 ・関東地方など都市部に就職先を求める保育士が増えている。
<b>指標③</b> まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 当初値(H28) 15.2 R2目標値 42.0 目指す方向 ↗ 	%	・「もりおか子育て応援プラザma*mall」の令和元年度の利用者が、新型コロナウイルス感染症の影響がある期間を除いた比較では、平成30年度から412人増加した。 ・児童家庭相談受付件数が、30年度の5,143件から元年度7,267件へ大幅に増加した。	・「もりおか子育て応援プラザma*mall」の認知・定着が進み、利用者が増加した。子育て支援ニーズに関するアンケート調査では、充実を望む支援策として「子連れでもでかけやすく楽しめる場所」を求める声が70.1%と高いことから、施設を充実させて利用者を増やすことが、子育ての不安感や孤立感の解消につながるものと考えられる。 ・子ども家庭総合支援センターと子育て世帯包括支援センターの連携により、市としての相談受付体制が強化された。
<b>指標④</b> まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 当初値(H28) 15.2 R2目標値 42.0 目指す方向 ↗ 	%	・「もりおか子育て応援プラザma*mall」の令和元年度の利用者が、新型コロナウイルス感染症の影響がある期間を除いた比較では、平成30年度から412人増加した。 ・子ども未来基金を活用した補助事業により、21の個人・団体が子ども・子育て支援の活動を行った。 ・児童センターの児童厚生員配置基準を見直し、適正な配置に改めた。 ・公立の保育園、小中学校、児童センターにおいて、エアコンの設置及びトイレの洋式化を行い施設環境改善を行った。 ・2年度から第2子の保育料の無償化、副食費の補助、学童クラブの第2子以降の利用料無償化、低所得世帯の利用料軽減を実施している。	・核家族化の進行を背景に、子育て支援ニーズが多様化・複雑化しており、妊娠・出産期から就学期に至るまでの切れ目のない支援と、社会全体で子育てを支える機運の醸成が求められているが、子育ての負担感を改善する水準に至っていない。 ・児童数が増加している盛南地区において地域子育て支援拠点が求められている。
<b>指標⑤</b> まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 当初値(H28) 15.2 R2目標値 42.0 目指す方向 ↗ 	%	・「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合が横ばい状態である。 ・市内の全ての児童に対して健全な遊びの場を提供するため、児童センターが未設置の小学校区の解消を進める。	・「もりおか子育て応援プラザ」の開設、「子ども未来基金の創設」、「待機児童解消緊急プロジェクト」等新しい子育て支援策を講じているが、子育て世代や関係者には周知が進んでいるものの、市民全体までは広がっていないものと考えられる。 ・児童センターが未設置の小学校区において、身近に遊べる施設がない(少ない)。

## 今後の展開(評価時点～令和3年度)

評価を踏まえた今後の取組
☆1 定員を超えて児童を受け入れた保育施設に対し、必要となる経費の補助を行う。 ☆2 定員を超えて児童を受け入れた保育施設に対し、定員充足率に応じて必要とする経費の補助を行う。
☆1 児童数が増加している盛南地区への地域子育て支援拠点の開設を検討する。 ☆2 子ども家庭総合支援センターにおいて、県(児童相談所)との人事交流の継続や、相談担当職員の専門性の向上、養育訪問支援の充実など、相談受付及び支援体制の強化を検討する。
☆1 児童数が増加している盛南地区への地域子育て支援拠点の開設を検討する。 ☆2 子ども未来基金を活用した補助制度を継続し、個人・団体による子ども・子育て支援活動のさらなる促進を図る。 ☆3 児童センターが未設置の小学校区への整備を進める。





No.	H	R	R2	事業名	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果	
13	●	●	●	私立児童福祉施設整備助成事業(施設の増改築)	社会福祉法人等に対し保育所等の新設に係る補助金を交付する	補助金を受けた社会福祉法人等が、保育所等を建設する	補助金を受けて建設した保育所等に児童が入所する	年間を通じた盛岡市の保育所定員が増加する	待機児童が解消される	
					社会福祉法人等に対し保育所等の改修・増改築に係る補助金を交付する	補助金を受けた社会福祉法人等が、保育所等の改修・増改築を行う	補助金を受けて改修・増改築した保育所等に、定員増加に応じた児童が入所する			
					社会福祉法人等に対し遊休物件を活用した小規模保育所等の整備に係る補助金を交付する					
	●	●	●	待機児童解消強化事業(定員弾力化補助金)	前年度以上に多くの児童を受け入れた保育所へ備品購入費や研修費の一部等に対し補助金を交付する	保育所が定員以上に児童の受け入れを実施する	定員の弾力化に積極的に取り組む保育所が増加する	年間を通じた盛岡市の保育所定員が増加する	待機児童が解消される	
					幼稚園教諭の資格を有する者が保育士資格を取得するために要した経費に対し補助金を交付する	認定こども園の幼稚園教諭の資格を有する者が、補助金を活用し、保育士資格を取得する	認定こども園において、保育が必要な児童の定員が増加する			
	●	●	●	保育士確保対策事業(奨学金返還支援、宿舎借上げ支援、処遇改善支援)	対象の保育士について、奨学金返還費用の一部に対して補助金を交付する	保育士の生活上の経済的負担が軽減される	保育士として就職する人が増加する	年間を通じた盛岡市の保育所定員が増加する	待機児童が解消される	
					対象の保育士の宿舎借上げ費用に対して補助金を交付する		保育士の離職率が低下する			
					対象の保育士の処遇改善費用に対して補助金を交付する					
	●	●	●	●	特別保育事業(延長保育実施施設の拡充)	延長保育を実施する私立保育所や小規模保育所等に補助金を交付する	私立保育所や小規模保育所等が延長保育を実施する	延長保育利用児童が増加する	年間を通じた盛岡市の保育所定員が増加する	待機児童が解消される
	●	●	●	●	子ども・子育て支援事業計画推進事業	子ども・子育て会議を開催する	子ども・子育て支援の取組に対して、委員から意見・提言が出される	子ども・子育て支援の取組が、委員の意見・提言が生かされた計画に改善される	子ども・子育て支援の取組が、委員の意見・提言が生かされた計画どおりに進む	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
	●	●	●	●	児童館管理運営事業(児童厚生員の適正配置)	指定管理者に対し、職員配置の適正化に必要な経費を支出する	指定管理者が、職員配置の適正化に向けて職員の雇用等を行う	児童センター、児童館を利用する児童の健全育成が図られる	児童センター、児童館を利用する児童の親が、安心して仕事ができる	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
	●	●	●	●	児童館整備事業((仮称)見前第二児童センター整備事業、(仮称)向中野児童センター整備事業)	見前小学校区に児童センターを整備する	見前小学校等に通う児童のうち、放課後の居場所が必要な児童が児童センターを利用する	見前小学校区における放課後の児童の居場所が確保される	児童センター、児童館を利用する児童の親が、安心して仕事ができる	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
						向中野小学校区に児童センターを整備する	向中野小学校等に通う児童のうち、放課後の居場所が必要な児童が児童センターを利用する	向中野小学校区における放課後の児童の居場所が確保される		
	●	●	●	●	児童福祉施設環境改善事業(公立施設エアコン設置)	公立保育所及び児童センターにエアコンを設置する	夏季における公立保育所及び児童センターの室内温度環境が改善される	公立保育所及び児童センターを利用する子どもの熱中症になる危険性が低くなる	子どもの病気や怪我への対応に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
						私立保育所及び放課後児童クラブに対しエアコン設置費用の一部を助成する	夏季における私立保育所及び放課後児童クラブの室内温度環境が改善される	私立保育所及び児童クラブを利用する子どもの熱中症になる危険性が低くなる		
	●	●	●	●	児童福祉施設環境整備事業(公立施設トイレの洋式化)	公立保育所及び児童センターのトイレ改修工事(洋式化)を実施する	公立保育所及び児童センターのトイレ環境が改善される	公立保育所及び児童センターを利用する子どもが、トイレを我慢しなくなる	子どもの病気や怪我への対応に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
								公立保育所及び児童センターを利用する子どもの感染症の蔓延が減少する		
	●	●	●	●	小中学校等環境整備事業(公立施設トイレの洋式化)	市立小中学校等のトイレを洋式化する	小中学校等で過ごす児童生徒のトイレ環境が改善される	小中学校等で過ごす児童生徒が、トイレを我慢しなくなる	子どもの病気や怪我への対応に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
								小中学校等で過ごす児童生徒間に、おける感染症の蔓延が減少する		
	●	●	●	●	小中学校等環境改善事業(公立施設エアコン設置)	小中学校等の普通教室や保健室等へエアコンを設置する	夏季における普通教室や保健室等の温度環境が改善される	熱中症等の体調不良を訴える児童生徒が減少し、あわせて適切な処置を受けることができる	子どもの病気や怪我への対応に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
	●	●	●	●	小児救急輪番制病院事業	小児重症患者を受け入れる小児救急輪番制病院等に対し、運営費の補助を行う	医療機関が小児医療を安定的・継続的に提供する	子どもがいつ病気になっても安心して診療を受けられる	子どもの病気や怪我への対応に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
	●	●	●	●	夜間急患診療所管理運営事業	夜間急患診療所を設置・運営し、年中無休で、午後7時から11時30分まで診療を行う	年中無休の夜間の救急医療体制(内科・小児科)が確保される		子どもの病気や怪我への対応に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
	●	●	●	●	病児・病後児保育事業(施設の新設)	専用スペースで病児保育を行う医療機関に対し、施設改修等の一部を助成し、運営を委託する	委託された医療機関が病児保育を行う	子どもの病気の際に、仕事を休まなければならないなくなる保護者が減少する	子どもの病気や怪我への対応に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する
●	●	●	●	予防接種事業(幼児等インフルエンザ予防接種補助事業)	インフルエンザ予防接種を実施した医療機関に対し、経費の一部を補助する	保護者の費用負担が軽減され、予防接種率が向上する	子どものインフルエンザの重症化及び感染拡大が防止される	子どもの病気や怪我への対応に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
●	●	●	●	母子保健事業(新生児聴覚検査事業)	新生児聴覚検査を受けた児の保護者に対して、費用の一部を助成する	保護者の費用負担が軽減され、新生児聴覚検査受診者が増加する	先天性の聴覚障害が早期に見られ早期に療養を開始することができる	子どもの病気や怪我への対応に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
●	●	●	●	医療費給付事業(妊産婦、乳幼児、小学生、中学生)	乳幼児の保健診療分の医療費を全額助成する	乳幼児の保護者について、保険診療分の医療費負担が無くなり、早期適切な受診が図られる	乳幼児の保健の向上と福祉の増進が図られる	妊産婦の病気や怪我への不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
					小学生・中学生の保険診療分の医療費を一部助成する	小学生・中学生の保護者について、保険診療分の医療費負担が軽減され、早期適切な受診が図られる	小学生・中学生の保健の向上と福祉の増進が図られる			
					妊産婦の保険診療分の医療費を一部助成する	妊産婦について、保険診療分の医療費負担が軽減され、早期適切な受診が図られる	妊産婦の保健の向上と福祉の増進が図られる			
●	●	●	●	障がい者相談支援事業(児童に特化した相談窓口の設置)	障がい児に特化した一般相談の実施を委託する	委託を受けた事業者が、一般相談を実施し、児童とその家族が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けてケアマネジメントによりきめ細かく支援する	障がい児やその家族が希望する暮らしが実現する 障がい児が自立した日常生活や社会生活を送ることができるようになる	障がい児やその家族の、日々の暮らしや将来の人生設計に関する不安が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
●	●	●	●	私立児童福祉施設等運営事業(第2子以降の保育料無償化)	認可保育所を利用する年収550万円未満相当世帯の第2子以降の子どもの保育料を無償とする	無償化の対象となる子どもの保護者が保育料を支払う必要がなくなる	認可保育所に2人以上の子を預ける年収550万円未満相当世帯の保育料に係る経済的負担が軽減される	年収550万円未満相当世帯において子育てによる生活の不安定化が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
●	●	●	●	私立児童福祉施設等運営事業(副食費補助)	私立児童福祉施設に、年収550万円未満相当世帯の副食費を軽減するための補助金を交付する	私立児童福祉施設が、年収550万円未満相当世帯の副食費を軽減する	私立児童福祉施設に子を預ける、年収550万円未満相当世帯の副食費に係る経済的負担が軽減される	年収550万円未満相当世帯において子育てによる生活の不安定化が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
●	●	●	●	認定こども園等運営費給付事業(第2子以降の保育料無償化)	認定こども園・小規模保育所を利用する年収550万円未満相当世帯の第2子以降の子どもの保育料を無償とする	認定こども園・小規模保育所等が、年収550万円未満相当世帯の第2子以降の保育料を無償化する	認定こども園・小規模保育所等に2人以上の子を預ける、年収550万円未満相当世帯の保育料に係る経済的負担が軽減される	年収550万円未満相当世帯において子育てによる生活の不安定化が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
●	●	●	●	保育所管理運営事業(第2子以降の保育料無償化)	公立保育所を利用する年収550万円未満相当世帯の第2子以降の子どもの保育料を無償とする	無償化の対象となる子どもの保護者が保育料を支払う必要がなくなる	公立保育所に2人以上の子を預ける年収550万円未満相当世帯の保育料に係る経済的負担が軽減される	年収550万円未満相当世帯において子育てによる生活の不安定化が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
●	●	●	●	子育てのための施設等利用給付事業(認可外保育施設第2子以降の保育料補助、幼稚園副食費補助給付)	認可外保育施設を利用する年収550万円未満相当世帯の第2子以降の子どもの保護者に対し保育料の負担軽減	無償化の対象となる子どもの保護者が補助金を受領する	認可外保育施設に2人以上の子を預ける、年収550万円未満相当世帯の保育料に係る経済的負担が軽減される	年収550万円未満相当世帯において子育てによる生活の不安定化が軽減される	「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実している」と感じる親が増加する	
					幼稚園に、年収550万円未満相当世帯の副食費を軽減するための補助金を交付する	幼稚園が、年収550万円未満相当世帯の副食費を軽減する	幼稚園に子を預ける、年収550万円未満相当世帯の副食費に係る経済的負担が軽減される			



No.	H	R	事業名	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果
24			地域児童クラブ等運営事業(第2子以降の利用料無償化、低所得世帯の利用料軽減)	委託先の放課後児童クラブに、年収550万円未満相当世帯の第2子以降の利用料を無償化するための補助金を交付する 委託先の放課後児童クラブに、低所得世帯の利用料を軽減するための補助金を交付する	委託先の放課後児童クラブが、年収550万円未満相当世帯の第2子以降の利用料を無償化する 委託先の放課後児童クラブが、低所得世帯の利用料を軽減する	放課後児童クラブに2人以上の子を預ける。年収550万円未満相当世帯の利用料に係る経済的負担が軽減される 放課後児童クラブに子を預ける。低所得世帯の保護者の利用料に係る経済的負担が軽減される		
25			就学援助事業(小学校)(学用品費の入学前支給)	経済的に困難な状況の児童の保護者に対して、小学校に入学する際に必要な費用の支給を、入学準備の時期に行う	経済的に困難な状況の児童の保護者が、小学校に入学する際に必要な学用品等を購入する	経済的に困難な状況の児童に対する教育の機会均等が図られる		経済的に困難な状況の児童が、学校生活を楽しく元気に送ることができる
26			就学援助事業(中学校)(学用品費の入学前支給、クラブ活動費支給)	経済的に困難な状況の生徒の保護者に対して、中学校に入学する際に必要な費用の支給を入学準備の時期に行い、入学後はクラブ活動費の支給を行う	経済的に困難な状況の生徒の保護者が、中学校に入学する際に必要な学用品等やクラブ活動に必要な用具等を購入する			
27			子ども家庭総合支援センター事業	子ども家庭総合支援センターを運営するとともに、児童虐待対応に係る関係機関との連携体制を構築する	児童家庭相談に対し適切な対応がとられる	児童虐待が未然に防止される 児童虐待が早期に発見され、早期に対応される		児童虐待が減少する
28			子育て世代包括支援センター事業	妊産婦や子育て家庭の相談を窓口や電話等で実施する 支援が必要なハイリスク妊産婦に対し家庭訪問を行う	妊産婦等が子育て支援に関する情報提供を受ける	妊産婦等が、必要な子育て支援事業を利用する	妊産婦等の心身の健康状態や新生児、幼児の養育環境が改善される	
29			母子保健事業(乳児家庭全戸訪問等事業)	保健師、助産師、在宅訪問員が、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問する	乳幼児のいる家庭の養育環境等が把握される	支援が必要な妊産婦・乳幼児のいる家庭が、適切な支援を受ける		
30			子ども家庭総合支援センター事業/養育支援訪問(家事援助)事業	食事や衛生環境に課題を抱える子育て家庭について、具体的な支援プランを作成し、ヘルパー派遣による訪問支援を行う	食事や衛生環境に課題を抱える子育て家庭が、家庭環境改善に向けた家事支援を受ける	食事や衛生環境に課題を抱える子育て家庭の衛生状況や子どもの食事環境が改善される		
31			母子保健事業(産婦健康診査事業)	産婦健康診査の実施を県内の医療機関に委託する	委託を受けた医療機関が、産婦健康診査(2週間・1か月)を実施する	産後うつなど、支援が必要な産婦が把握される		
32			母子保健事業(産後ケア事業)	産後うつなど、支援が必要な産婦への心身のケアや育児のサポートを行う業務を、助産師に委託する	産後うつなど、支援が必要な産婦が、心身のケアや育児のサポートを受ける	産後うつ症状が改善されるなど、産婦が安心して健やかに産後の生活が送れるようになる		
33			子育て応援プラザ運営事業	子育て応援プラザを運営する	子育て中の親子が子育て応援プラザを利用する 市民団体・企業等が子育て応援プラザを利用して、子ども・子育て支援の活動を行う	子育て中の親の気分転換が図られる 子育て中の親同士の子育てに関する悩みや不安などについての情報交換が図られる		
34			子ども未来基金事業	個人・企業等に対して、寄附の呼びかけを行う 企画提案方式により、市民・団体等が行う子ども・子育て支援の活動の費用を助成する	個人企業等が、子ども未来基金に対して寄附を行う 助成を受けた市民・団体が、子ども・子育て支援の活動を行う	民間による子ども・子育て支援の活動が活発になる		盛岡市全体で子ども・子育てを支援する機運が高まる
35			ワーク・ライフ・バランス推進事業	モデル企業に選定された企業にコンサルティングを行う	参加するモデル企業が培ったノウハウ等を他の企業へ広めるための勉強会等を行う	民間企業等において、ワーク・ライフ・バランスを推進するための知識やスキルを身に付けた人材が増加し、推進する企業等が増加する		子育て世帯等にとって働きやすい環境が整備される
36			子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業	空き家を子育て世帯専用の賃貸住宅に改修した物件所有者等に対し、経費の一部を補助する	物件所有者等が、子育て世帯専用の賃貸住宅に改修する	子育て世帯が、子育て世帯専用の賃貸住宅に入居する		子育て世帯の住まいに関する不安・ストレスが軽減される



# 【戦略プロジェクト評価(令和2年度)】

## 戦略プロジェクトの概要

戦略プロジェクト名	2020あつまる・つながるまちプロジェクト
期待する効果	観光やスポーツを通して国内外から多くの人が訪れ、また訪れなくなるまちになる
重点取組期間	平成30～令和2年度
主管部名	交流推進部
戦略プロジェクト統括マネージャー	伊瀬谷 渉 交流推進部長

戦略プロジェクトに取り組み背景	戦略プロジェクトの取組の内容
まちの活力を維持していくため、定住人口の維持を図るとともに、恵まれた食や観光資源など、本市の魅力を生かした誘客の促進や若者の活躍の場の創出、スポーツを新たな機軸とするインバウンド獲得など、交流人口の増加を図り、まちに賑わいを生み出していくことが本市の重要課題となっている。	本市を訪れる旅行者が満足し、選ばれる観光地域となるため、歴史や自然、文化などの恵まれた観光資源を生かし、ブラッシュアップするとともに、国内外からの観光客受入態勢の整備を進めるほか、様々な媒体を通じ、本市の魅力を積極的にプロモーションする。 また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運を高め、ホストタウン事業などに取組むとともに、MICE(マイス)の誘致や盛岡ファンづくりを推進するなど、交流人口を増やし、魅力があふれるまちづくりを推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
国内外の人 市民	盛岡に来てもらう(交流人口が増える)。 盛岡に愛着を持ってもらう。

## 目標指標の状況・評価(令和2年7月時点)

実績値の推移		実績の評価		今後の展開(評価時点～令和3年度)		
指標① 観光客入込数		「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点		評価を踏まえた今後の取組		
単位	万人回	特に寄与している点の要因分析		<p>☆1 国内の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、都道府県をまたぐ移動に配慮しつつ、県内を中心とした域内の観光需要喚起につながる事業に取り組む。</p> <p>☆2 国内の感染状況に応じて、県内から東北5県、信越地方、関東圏などを視野にターゲットの検討を行い、観光需要喚起策としての実施可能な観光プロモーションを展開する。</p> <p>☆3 感染症収束後の観光需要の回復期と令和3年4月からの東北デスティネーションキャンペーンを見据えた観光プロモーションを検討し、実施に向けて取り組む。</p> <p>☆4 岩手もりおか復興フェスタは、これまで同時開催していた盛岡広域商工団体が主催する「もりおか広域まるごとフェア」の中止が決定したこと及び新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せず、万全な感染防止策を講ずることが困難なことから、今後実行委員会内で中止に向けた協議を行う。令和3年度については、開催時期、会場等の変更を含めて、継続開催に向けて関係団体等と協議、調整する。</p> <p>☆5 MICEについては、開催の可否判断は主催者側に委ねられるため、今年度中の開催の可否は不明であるが、開催の際の感染防止策について、万全を期する対策を講じるための受入側の準備を行うとともに、令和3年度以降の開催に向けて、三密の回避など、感染症収束後の新しい生活様式を取り入れた感染防止対策を講じた誘致宣伝活動に向けた取り組みを行う。</p> <p>☆6 つなぎ温泉の盛岡伝統芸能常設公演は、収束の時期や感染防止対策を講じた上で、令和2年度中の開催について検討し、実施に向けて取り組み、令和3年度以降の継続公演につなげる。</p> <p>☆7 「盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画」に基づき、市外に向けたプロモーションの効果を高めるため、マーケティング手法を取り入れた情報発信を実施する。</p> <p>☆8 いしがきミュージックフェスティバル実行委員会への負担金による支援を継続する。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、大規模なイベントの取り扱いについて国や県の動きを注視していく必要がある。</p>		
当初値(H25)	472	R2目標値	504		目指す方向	↗
		<p>・コロナ禍において、観光需要の回復期に向けた受入環境が整った。</p> <p>・それぞれの活動に対し、訴求する相手方(ターゲット)を設定したことで、効果的な訴求につながった。</p> <p>・民間事業者などと連携し、ターゲットを明確にしたプロモーションの方向性を構築したうえで事業を実施した。</p> <p>・いしがきミュージックフェスティバルは、天候に左右されるリスクはあるが、アクセシビリティに優れた街中での開催という特色があり、地元の若者が全国に向かってふるさと盛岡を誇れるマチナカフェスとして定着し、来場者数が伸びている。</p>				
<p>※平成25年度の実績値を基準に目標値を設定している</p>		<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・国内外における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、指標の向上に向けた事業の延期または中止となっている。</p> <p>・MICEについては、22件の申請中、既に12件が辞退している。</p> <p>・東北六市連携による首都圏プロモーションは、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度に予定していた全てのプロモーションが中止となった。</p> <p>・つなぎ温泉の宿泊施設で6月実施予定としていた盛岡さんさ踊りなどの「盛岡伝統芸能常設公演」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、延期となっており、現在のところ開始の時期は未定となっている。</p> <p>・盛岡からの転出者や盛岡デーへの来訪者など、東京盛岡ふるさと会以外で盛岡と関わりがある人との継続的な連携が十分とは言えない。</p> <p>・いしがきミュージックフェスティバルは、メイン会場である盛岡城跡公園の使用制限や事業継続と誘客の拡大のため、資金確保が課題となっている。</p>				
指標② 外国人観光客入込(宿泊客)数		「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点		今後の展開(評価時点～令和3年度)		
単位	人回	特に寄与している点の要因分析		<p>☆1 海外定期便の就航の再開時期や国内における外国人観光客の受入れ体制の整備などを注視しながら、令和3年4月からの東北デスティネーションキャンペーンや東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、本市において入込数が多い台湾や中国をターゲットとした盛岡広域によるプロモーションについて検討し、実施に向けた取り組みを行う。</p> <p>☆2 Withコロナにおける観光地や宿泊施設などにおけるインバウンドの受入れにあたっての感染防止対策など、観光庁など国や関係団体等の動向を注視し、必要な環境整備に取り組む。</p>		
当初値(H28)	23,649	R2目標値	50,000		目指す方向	↗
		<p>・コロナ禍において、観光需要の回復期に向けた受入環境が整った。</p>				
<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・国内外における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、外国人観光客の誘客に寄与する花巻空港の国際定期便(台湾・中国)が、現在のところ9月末までの運休が決定している。</p> <p>・海外からの渡航が困難な状況となっている。</p>						
指標③ 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」		「指標の目指す方向」に向けて特に寄与している点		今後の展開(評価時点～令和3年度)		
単位	位	特に寄与している点の要因分析		<p>☆1 「盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画」に基づき市内外に向けたプロモーションの効果を高めるため、マーケティング手法を取り入れ、全庁的な視点で連携した情報発信を実施する。</p> <p>☆2 移住ニーズに対応するため、相談支援体制の強化を図る。</p> <p>☆3 関係人口が盛岡での具体的な取組にかかわるための機会を創出する。</p> <p>☆4 地元の高校生や大学生が地域課題を知る機会などを提供する。</p> <p>☆5 上記の取組を推進するための拠点を整備する。</p> <p>☆6 舟運事業は、社会実験により得られた情報を基に運航計画を策定し、関係組織団体の相互協力により必要な施設と運営組織を整備する。安定した運航環境を確保した上で、継続的にフェスタを実施するとともに、運航回数を増やし、舟運の認知度を上げる。</p>		
当初値(H28)	117	R2目標値	50		目指す方向	↗
		<p>・それぞれの活動に対し、訴求する相手方(ターゲット)を設定したことで、効果的な訴求につながった。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりテレワークが実施されたことで、職住近接の考え方に変化が生じている。</p> <p>・舟運事業について、主体的に取り組んでいる地元団体に、国、県の関係機関も加わった実行委員会の設置により、導入実現に向けた組織強化が図られた。</p>				
<p>「指標の目指す方向」に向けた問題点</p> <p>・英語版フォトブックの配布活動や、情報発信を効果的に行うためのマーケティング研修が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p> <p>・個別の取組の成果が、指標の上昇に繋がらないことがある。</p> <p>・新型コロナ感染症の感染拡大をきっかけに、地元への想いが強まる傾向にある中で、盛岡との具体的な接点を持つ行動変容に至っていない。</p> <p>・住民基本台帳のようなデータベースがないため、盛岡出身者などに対するアプローチが難しい。</p> <p>・舟運事業は、社会実験から得られた水深不足などの情報を基に、運航の安定性を確保できるよう課題解決に向けハード、ソフトの整備が必要である。また、隣接して整備された木伏緑地(公園)が、居心地の良い魅力ある空間として持続的に活用される必要がある。</p>						





No.	H30	R1	R2	事業名	活動	結果	1次成果	2次成果	3次成果
1				生涯スポーツ推進事業/競技大会等開催事業(いわて盛岡シテマラソン、スポーツクライミングコンバインドジャパンカップ実行委員会に負担金を支出する)	「いわて盛岡シテマラソン実行委員会」に負担金を支出する 「スポーツクライミングコンバインドジャパンカップ実行委員会」に負担金を支出する	「いわて盛岡シテマラソン実行委員会」が大会を実施する 「スポーツクライミングコンバインドジャパンカップ実行委員会」が大会を実施する	市民や全国からの参加者が「いわて盛岡シテマラソン」に出場する 全国の選手が「スポーツクライミングコンバインドジャパンカップ」に出場する 全国のファンが「スポーツクライミングコンバインドジャパンカップ」を観戦しに来盛する	スポーツに関連し、盛岡を訪れる人が増加する	交流人口が増加する
2				地域おこし協力隊活用事業(スポーツを通じた盛岡広域の魅力発信)	盛岡広域の魅力を国内外に発信するため、地域おこし協力隊を任用する	地域おこし協力隊員が、盛岡広域ネットワークと連携しながら、盛岡広域の魅力の掘り起こしを行い、HPやSNSを通じて国内外に発信する	HPやSNSにより、スポーツを通じて、盛岡広域に関心をもつ人が増える		
3				盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業(カナダの氷球・7人制ラグビー、マリ共和国の柔道事前キャンプ受入れ)	盛岡広域スポーツコミッション負担金を支出する 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、氷球カナダの事前キャンプ受入れを実施する 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、ラグビーカナダの事前キャンプ受入れを実施する 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、マリ共和国柔道の事前キャンプ受入れを実施する RWC2019承認チームキャンプ地として、地域交流計画を策定し、交流事業を実施する	盛岡広域が連携して、合宿や大会の誘致活動を行う 東京2020事前キャンプに氷球カナダの選手、関係者が訪れる 東京2020事前キャンプにラグビーカナダの選手、関係者が訪れる 東京2020事前キャンプにマリ共和国柔道の選手、関係者が訪れる RWC2019関連の交流事業に市民が参加する	合宿や大会の誘致が成功し、選手・関係者や観客が訪れる 東京2020氷球カナダの事前キャンプの交流事業に観客が訪れる 東京2020ラグビーカナダの事前キャンプの交流事業に観客が訪れる 東京2020マリ共和国柔道の事前キャンプの交流事業観客が訪れる 盛岡でRWC2019のチームキャンプを行った国との交流が盛んになる	外国人観光客入込(宿泊客)数が増加する	
4				姉妹都市等国際交流事業(ホストタウン機運醸成事業、ピクトリア姉妹都市提携35周年記念事業)	ホストタウン事業に関する周知イベント等を実施する 「盛岡市・ピクトリア市姉妹都市提携35周年記念事業実行委員会」に負担金を支出する 盛岡市・ピクトリア市姉妹都市提携35周年を記念し、両市長による公式訪問を実施する	ホストタウン事業の周知イベント等に市民が参加する 民間が主体となった「盛岡市・ピクトリア市姉妹都市提携35周年記念事業」が実施される	ホストタウン事業について市民の理解や関心が深まり、市民の国際感覚の醸成が図られる 姉妹都市ピクトリア市との交流が盛んになり、市民の国際感覚やイベントの醸成が図られる	国際交流活動を支える新たな担い手の育成や、交流の場の創出が促進され、外国人観光客の受入環境の整備につながる	
5				広域観光推進事業/外国人観光客誘致推進事業(外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業)	外国人観光客の受入態勢の整備として、City Wi-Fi設置を委託する 台湾国際旅行展・タイ国際旅行フェアに参加する	委託を受けた事業者等が、City Wi-Fiを設置する 台湾国際旅行展・タイ国際旅行フェアで盛岡のプロモーションを行う	City Wi-Fiを利用する外国人観光客が増加する 台湾・タイからの入り込みが増加する	外国人観光客の来盛満足度が向上する	
6				観光客誘致宣伝事業(東北六都市連携広域観光プロモーション事業)	東北六都市連携事業負担金を支出する	6市が連携して首都圏等で盛岡のプロモーションを行う 6市が連携して海外で盛岡のプロモーションを行う	首都圏等で盛岡のプロモーションを受けた外国人が、盛岡を訪れる 海外で盛岡のプロモーションを受けた外国人が、盛岡を訪れる		
7				観光団体育成強化事業(盛岡伝統芸能常設公演事業)	「つなぎ温泉観光協会」に盛岡伝統芸能常設公演を実施する補助金を交付する	「つなぎ温泉観光協会」が、つなぎ温泉で、盛岡さんさ踊りを中心とした市の伝統芸能を常設公演する	つなぎ温泉に宿泊する外国人観光客が増加する		
8				MICE(マイス)誘致推進事業	「(公財)盛岡観光コンベンション協会」に補助金を支出する	「(公財)盛岡観光コンベンション協会」がMICE(マイス)助成の募集を行い、申請を受ける	MICE(マイス)開催者が「(公財)盛岡観光コンベンション協会」からの助成を受けてMICEを開催する	MICE(マイス)に関連し、盛岡を訪れる人が増加する	
9				地場・伝統産業振興事業(盛岡市の物産と観光展開催事業)	「盛岡市の物産と観光展実行委員会」に負担金を支出する	「盛岡市の物産と観光展実行委員会」が札幌市、熊谷市で物産展を開催する	物産展をきっかけに、盛岡を訪れる人が増加する	国内からの観光客(観光客入込数)が増加する	
10				地場・伝統産業振興事業(盛岡デー開催事業)	「盛岡デー実行委員会」に負担金を支出する	「盛岡デー実行委員会」が東京とうらま市で盛岡デーを開催する	盛岡デーをきっかけに、盛岡を訪れる人が増加する		
11				観光客誘致宣伝事業/大型観光キャンペーン事業(岩手もりおか復興フェスタ開催事業)	「東北絆まつり実行委員会」に負担金を支出する(新型コロナウイルス感染症により中止) 東北絆まつり盛岡さんさ踊り派遣負担金を支出する(新型コロナウイルス感染症による中止) 「岩手もりおか復興フェスタ実行委員会」に負担金を支出する	「東北絆まつり実行委員会」が東北絆まつりを開催する 「岩手もりおか復興フェスタ実行委員会」が岩手もりおか復興フェスタを開催する	東北絆まつりに、多くの観光客が訪れる 岩手もりおか復興フェスタに、多くの人が訪れる		
12				いしがきミュージックフェスティバル支援事業	「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会」に負担金を支出する	「いしがきミュージックフェスティバル実行委員会」が、いしがきミュージックフェスティバルを開催する	いしがきミュージックフェスティバルに多くの人が訪れる		
13				芸術文化活動振興事業(盛岡国際俳句大会の開催)	「盛岡国際俳句大会実行委員会」に負担金を支出する	「盛岡国際俳句大会実行委員会」が盛岡国際俳句大会を開催する	盛岡国際俳句大会に、多くの参加者や観光客が訪れることにより盛岡の魅力発信につながる		
14				盛岡三大種普及事業	「盛岡三大種普及協議会」に負担金を支出する	「盛岡三大種普及協議会」が全日本わんこそば選手権を開催する 「盛岡三大種普及協議会」が盛岡三大種に関する広報紙の作成やHP等を活用した情報発信を行う	全日本わんこそば選手権に来客がある 盛岡三大種の魅力が伝わる	盛岡を愛する人が増える	
15				芸術文化活動振興事業(盛岡文士劇東京公演)	「盛岡文士劇東京公演実行委員会」に負担金を支出する	「盛岡文士劇東京公演実行委員会」が、友好都市を提携した文京区で盛岡文士劇東京公演を開催する	盛岡文士劇東京公演に、多くの観覧客が訪れることにより盛岡の歴史文化などの魅力発信につながる		
16				盛岡ブランド確立事業	盛岡ブランドフォーラムを開催する 盛岡ブランドの広告宣伝を委託する 職員のマーケティング手法の定着推進に向けた指導等を委託する 職員のプロモーション能力向上に向けた指導等を委託する	盛岡ブランドフォーラムに市民等が参加する プロモーション素材を活用して盛岡ブランドの広告・宣伝を実施する 市内に対し、マーケティングの基礎知識や手法の解説、分析ツールの提供、効果測定・実践指導等を行う 市内に対しプロモーションツール作成指導や研修を行う	盛岡ブランドフォーラムの参加者における盛岡ブランドの認知度が向上する 市外在住者における盛岡に関する情報接触割合が向上する 職員がマーケティング手法を取り入れた戦略的な情報発信を行うようになる	職員の戦略的な情報発信により、市民における盛岡ブランドの認知度が向上する 職員の戦略的な情報発信により、市外在住者における盛岡ブランドの認知度が向上する	
17				地域おこし協力隊活用事業(盛岡の魅力PR)	盛岡の魅力発信するため、地域おこし協力隊を任用する	地域おこし協力隊が、市外在住者をメインターゲットとしたコンテンツを制作し、盛岡に関する情報発信を行う	地域おこし協力隊の情報発信により、市外在住者の盛岡認知度が向上する		
18				地場・伝統産業振興事業(特産品ブランド振興事業)	盛岡ブランド品認定会議を開催する	盛岡ブランド品が認定される 盛岡プレミアムブランド品が認定される	ブランド品に認定された地場・伝統産業の商品が全国にアピールされる		
19				都市公園整備事業(木伏緑地整備)	公園施設を整備する事業者に対し、負担金を支出する	木伏緑地に飲食店やトイレが整備される	北上川沿いの魅力が向上し、木伏緑地に多くの市民や観光客が訪れる		
20				盛岡地区かわまちづくり事業	「舟運実行委員会」に負担金を支出する 舟運導入可能性調査を行う	「舟運実行委員会」が試作舟による社会実験を行う 舟運導入に向けた具体的な検討が進む	社会実験、フェスタに市民が参加する 舟運事業の実施に向けた機運が高まる		
21				地域おこし協力隊活用事業(移住・定住の促進)	移住・定住促進のため、地域おこし協力隊を任用する	地域おこし協力隊が移住・定住のイベント等で情報を発信する	地域おこし協力隊からの情報発信により、移住先としての盛岡の認知度が向上する		
22				移住・定住・交流人口対策事業	首都圏における盛岡コミュニティ育成・支援業務を委託する 盛岡暮らし等に関する移住ツアー業務を委託する 移住・定住関連のイベントに負担金を支出する 移住・定住促進のため、移住コーディネーターを任用する	首都圏において盛岡コミュニティ育成・支援が実施される 盛岡暮らし等に関する移住ツアーが実施される 移住・定住関連のイベントに出展する 移住コーディネーターが、移住・定住を考えている人の相談業務を行う	首都圏において盛岡コミュニティが拡大する 盛岡暮らし等に関する移住ツアーに参加者が来る 移住・定住関連のイベントに参加者が来る 移住・定住を考えている人が、実際の生活に向けた課題解決への支援を受けることができる	移住・定住先としての盛岡に興味を持ち、移住・定住に向けた具体的な検討を行う人が増える	移住者が増加する



(余白)

ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡を目指して  
…進めています, 自治体経営



---

## 行政評価結果

問合先 盛岡市市長公室 企画調整課

〒 020-8530 盛岡市内丸 12 番2号

電話 019-613-8394(直通)

電子メール [kikaku@city.morioka.iwate.jp](mailto:kikaku@city.morioka.iwate.jp)

---